

新たなビジョン（北九州市基本構想・基本計画）（素案）に対する  
新ビジョン検討会議の構成員からの意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】  
1:既に掲載済  
2:追加・修正あり  
3:追加・修正なし  
4:その他

No.	意見の概要	市の考え方	反映状況
<b>「目指す都市像」について</b>			
1	一言で浸透するキャッチフレーズが欠けている。	キャッチコピーについては、新たなビジョンを広く市民の皆様と共有していくために、今後、検討してまいります。	4
2	つながりと技術は分かるが、情熱がここだけ気合いと根性みたいな感じがする。35ページに説明があるが、それが情熱なのかチャレンジ精神なのか柔軟性なのか、即、情熱ということではないのではないか。	目指す都市像におけるパートごとの解説の記述を基本構想（P2）に追加しています。	2
3	危機感が伝わらないのではないか。「ヤバいぞ北九州」くらいの方が良い。公害を克服したのは「ヤバい」と思ったからではないか。	目指す都市像については、市民の皆様が希望をもって一緒に取り組んでいくものであることから、一部表現は修正していますが、現案のままとしています。	3
4	「ヤバいぞ」というワードはとても良いと思った。危機感にもプラスにも捉えられる。		
5	誰に対して発している都市像なのかが分かりにくい。最後に、1文だけ語尾が「未来を作っていきます」の丁寧語になっているので、他と同様にカッコよく、言い切ってもよいのではないか。	目指す都市像におけるパートごとの解説の記述を基本構想（P2）に追加しています。また、ステートメントは市民へのメッセージであることから、専門家であるクリエイティブディレクターとも協議の上で、表現の一部を修正しています。	2
6	「一歩先の価値観」は人によって捉え方が難しい。言葉としては素敵な響きであるが、正解が分からなくてモヤモヤしてしまうのではないか。「愛さずにはいられない」はちょっとくすぐったい。		
7	目指す都市像は、言葉を生み出すプロに入っていた方がよりブラッシュアップされるのではないか。		
<b>「一歩先の価値観」について</b>			
8	一歩先の価値観を実現する。これが何か、最後まで読んでも分からず、「～など」となっており自信のなさが見えてしまう。一歩先の価値観とはこの3つだ、と最初にドンと出していった方が良いのではないか。	目指す都市像におけるパートごとの解説の記述を基本構想（P2）に追加するとともに、基本構想（P6）の「一歩先の価値観」の説明の記述を修正しています。	2
<b>3つの重点戦略による「成長と幸福の好循環」について</b>			
9	3つの重点戦略の積み上げでこの都市像につながっているかがピンとこない。一個一個は良い言葉なのだが、3つの重点戦略と切れている感じがする。マスタープランの骨格が伝わらないのでそこで微調整があるのではないか。良い言葉なのでそこは検討して欲しい。稼げるまちと彩りあるまちは相反する部分もある。	基本構想（P7）の『3つの重点戦略による「成長と幸福の好循環」』の記述を修正しています。	2
<b>3つの重点戦略について</b>			
10	外から入ってもらわないと人口の復活もあり得ない。外の人に対する包容力、というのを示さないと排他的な感じになってしまう。安全安心のキーワードについても、何かあった時に助けてくれないと、外から来た人はがっかりしてしまう。外に対する優しさをしっかりと入れていただきたい。	基本構想（P7）の『3つの重点戦略による「成長と幸福の好循環」』の記述を修正しています。	2
11	企業にとってどういう方向で「稼げるまち」になるのか、という方向感が必要。リスキングを通じて自分自身が稼げるようになると良いという話もあったので。北九州に来るメリットがあれば良い。	基本構想（P9）の『「稼げるまち」の実現』の記述を修正しています。	2

12	子どもが夢を持ってという話はあったが、大人が夢を持つことも大事ではないか。	年齢などに関係なく、自分らしさを大切にして多様な選択肢があるまちの実現が重要と考えています。そのため、基本構想（P9）の『「彩りあるまち」の実現』の記述を修正しています。	2
<b>計画の策定にあたってについて</b>			
13	推進体制については、まあこうなるだろうと思うが、様々な取り組みはつながっているはずなのだが、バラバラに見える。各部署が協力しながらやるのか、プロジェクトチームでやるのか、そこを整理する必要がある。	基本計画（P3）「4 計画の推進体制」の記述に、庁内連携についてを追加しています。	2
14	市職員の方は熱心で優秀だが、「市政変革による基盤づくり」部分で記載がある「各局室が自主的・自律的な」というフレーズに表れているように、部署ごとに動いている感じがする。その辺りを記載するかどうかは別にして考えて欲しい。	基本計画（P4）「市政変革による基盤づくり」の記述を修正しているほか、（P3）「4 計画の推進体制」の記述に、庁内連携についてを追加しています。	2
15	推進体制では、全員が同じデータを見て考えることができることが重要。異業種間の連携、横のつながりが今、経済界でも重要になっている。市が真ん中に立って全体をつなぐような役割を果たすという決意を示して欲しい。	基本計画（P3）「4 計画の推進体制」の記述に、計画の推進や検証を行う仕組みの構築についてを追加しています。	2
<b>「稼げるまちの実現」について</b>			
16	誰がこれをやるのか、という主体が若干不明瞭。市がやることと他の人がやることがある。第3章以降は市がこれをやるということは比較的わかりやすい。「稼げる」のところで、例えば、キャリア形成などを誰がやるのか。また、稼げるまちとして掲げることは重要だが、企業がこの計画に基づいて遂行するインセンティブがどこにあるか。	基本計画（P5～）の第2章の「稼げるまちの実現」では、行政が行うことを中心に記載していますが、一部、企業などが主体となる部分には追記をしています。なお、新ビジョンは今後、取り組むべき主要な政策までを掲げることとしているため、インセンティブなどの具体的な施策や事業については、分野別計画や毎年度の予算等で提示してまいります。	2
17	産業分野の順番がこれで良いか。熟度が高いものとそうでないものがある。この順番が良いのか。AIが入っていない。情報系の産業集積は項目を一本建てた方が良いのではないか。	産業分野の柱立てについては、市のマスタープランという視点で関係局とも協議の上で整理を行っております。また、AIについては、基本計画（P7）の「3（5）生産性向上・高付加価値の推進」の記述に追加しています。情報系企業の集積については、（P6）の「3（1）バックアップ首都構想の推進」に記載しています。	2
18	長期的な話だが気になることとして、メガリージョンの推進のところで、大分県が東九州新幹線の2つのルートを出してきた。豊前ルートと日田を通るルート。後者にされると、後背地としての大分の人口が全部福岡に持っていかれてしまう。大分としっかりと連携して豊前の方を通してもらい、北九州空港のところに駅を作って、ということをやって欲しい。計画に書かなくて良いので。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであるため、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝えています。	3
19	外国人が空港から当大学まで来れるか、というと来れない。来てくれたら気に入ってくれるが、最初のバリアは大きい。これを取り除かないといけない。	外国人については、基本計画（P6）「2（4）多様な人材が働くことができる環境の整備」や（P12）「2（1）多様性を認め合う文化のまちづくり」にも記載しているほか、「国籍にかかわらず誰もが」という視点を盛り込んでいます。	1
20	外国人の観点は私も重要だと思った。技能実習生の制度も変わろうとしているので。		
21	働き方改革のところがあまり見えない。子どもの幸せと同時に親の働き方改革が重要ではないか。	働き方改革の推進については、基本計画（P6）「2（3）性別にかかわらずキャリア形成の支援」に記載しています。	1
22	子育てしていて、大きな不満はないが、小学校入学時に、色んな道具に膨大な名前を書く作業などに時にくじけそうになることもあった。今も大きな不満があるわけではないが、負担を減らすことは考えて欲しい。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであるため、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝えています。	3
23	「稼げる人を育む」では、大学生に関する記述がほとんどであるが、小学生から考えてもらわないととても間に合わない。KPIにはあるので、ぜひ考えて欲しい。	基本計画（P5）「2（1）スタートアップの創出・成長」の記載に「小学生期から」を追加しています。	2
24	起業家だけでなくそれを支える人材も支えないといけない。「起業家精神」の方が適切だと思う。	基本計画（P5）「2（1）スタートアップの創出・成長」の記載に「起業家精神」で修正しています。	2

25	多様な人材が働くことができる、というのは、働けていない人が働けるようにする、ということと読める。それはそれで大事だが、今のリスクは今、働いている方がまた勉強しているんなものを身につけて新しい場所で輝く、そういうニュアンスも出していただけたらと思う。	基本計画（P6）「2（4）多様な人材が働くことができる環境の整備」の記載に「就労の有無にかかわらず」を追加しています。	2
26	健康経営を入れていただいているが、従業員の健康に投資することで生産性を上げるということで、稼げるまちにつながる部分であるので、考えていただきたい。	基本計画（P7）「3（5）生産性向上・高付加価値の推進」の記載に「健康経営の導入」を追加しています。	2
27	稼げるまちの部分で「グリーンインパクト」は記載していただいているが、もっと「環境」を訴求することで、都市のイメージアップにつながるのではと思う。	北九州市の「環境先進都市」としての取組みは国内外で評価されていることから、基本構想（P5）で記載していますが、基本計画（P10）でも都市の魅力として記述を修正しています。	2
28	「GX」と「カーボンニュートラル」、「デジタル化」と「DX」が入り混じっている。ほとんどがグリーントランスフォーメーションとデジタルトランスフォーメーションで良いと思うが、一度確認して欲しい。	表現については、改めて確認を行い、一部整理を行っています。	2
<b>「彩りあるまちの実現」について</b>			
29	新型コロナウイルスが5類移行してから、外国人観光者も目立つようになったが、インバウンドの話がこの中にあまり見えない。いくつか書いてはあるが、高度外国人材も含めインバウンドの対策が重要。そうすれば市内に住む外国人が安心して暮らせるのではないかな。	インバウンドについては、基本計画（P10）「2（3）観光資源の磨き上げや発信の推進」で記載しております。また、外国人については、（P6）「2（4）多様な人材が働くことができる環境の整備」や（P12）「2（1）多様性を認め合う文化のまちづくり」にも記載しているほか、「国籍にかかわらず誰もが」という視点を基本構想や基本計画の各箇所に盛り込んでいます。	1
30	外国人材の日本語能力向上も大事だが、市民が外国人とコミュニケーションを取れるように、英語力やコミュニケーションのための手段や方法を身に着けることが意識されるべき。	基本計画（P11）「3（1）グローバル人材や理工系人材の育成に向けた教育の推進」の記載に「国際的な競争と共生が進む」を追加しています。	2
<b>「安らぐまちの実現」について</b>			
31	「安全な街」のところに治安だけでなく災害の少なさなども訴えたらと思う。	「災害の少なさ」など、北九州市のポテンシャルについては、今後も企業誘致などの場面において、積極的に発信していきます。	3
32	外国人が空港から当大学まで来れるか、というと来れない。来てくれたら気に入ってくれるが、最初のバリアは大きい。これを取り除かないといけない。	外国人については、基本計画（P12）「2（1）多様性を認め合う文化のまちづくり」に記載しているほか、「国籍にかかわらず誰もが」という視点を基本構想や基本計画の各箇所に盛り込んでいます。	1
<b>人口増に向けた道筋について</b>			
33	稼げるまちと安らぐまちの両方がないと人口が維持できないというのはその通りだと思うが、計画全部はなかなか読まない。	基本計画（P14）「人口増に向けた道筋」の記述に、「都市の経済成長と人口増の関連性」などを追加して、記述を読みやすく整理しています。	2
34	将来推計人口を上回ることが指標で書かれているが、これから急降下する可能性がある中で、イメージ図は夢物語ではないか。高齢化が進んでいる中で、亡くられる方が必然的に増える。したがって、20年スパンではなく、40年などもっと長く取った方が良いのではないかな。	人口については、社会動態の改善に合わせて、子育てや教育環境の向上などにより、自然動態についても改善を図りながら、中長期的な視点となることから、イメージ図を2040年以降も伸ばすなどの修正をしています。	2
<b>主要な成果指標について</b>			
35	KPIの設定がされているが、最小の費用で大きな効果が得られるように、市の投資に対する効果が検証される仕組みで検証することがすごく大事である。数値で効果が測れるものは出さないといけない。計画に書くとゴチャゴチャになるが、そこは意識をして欲しい。	基本計画で掲げる成果指標は、3つの重点戦略による取組の結果となる、大きなアウトカムの指標を掲げており、素案の13から19に指標を追加しています。その他の指標については、分野別計画や、新ビジョン策定後の毎年度の行政評価のKPIの達成状況などで把握していくこととしています。	2
36	20年先を見据え、5年ごとに検証する、ということだが、どのような組織をもって評価していくのか、ということ表現しないといけない。今のメンバーは5年後にはいない可能性がある。	基本計画（P2）「3 計画の進行管理・見直し」、（P3）「4 計画の推進体制」の記述に、計画の推進や検証を行う仕組みの構築についてを追加しています。	2

37	男性の健康寿命がずいぶん短い。人口を留めおくためにはまずは死亡数の減少が重要である。加えて、指標として取るのは難しいが、交流人口を増やす仕掛けを考えることは重要なので、考えて欲しい。	健康寿命の延伸や交流人口増加への仕掛けなどの具体的な取組へのご意見については、関係部局に伝えています。	3
38	「一步先の価値観」ということを示せる指標が必要ではないか。一步先の価値観とは何かを明確にして指標にする。例えば、インクルージョンとダイバーシティが分かるようなもの。	現時点では「一步先の価値観」に繋がる客観的な指標はありませんが、新ビジョン策定後、毎年度の行政評価のKPIの達成状況などの検証において、適切な指標について引き続き検討してまいります。	3
39	成果指標はすごく大事である。「稼げる」の指標に市内の名目総生産が書かれているが、一人当たりの付加価値額が上がるのが大事なので、それを出せばよいのではないか。企業にとってもメリットになるような指標を示して、それを出せば企業が北九州に来ようと思えるような指標。	基本計画（P16）の成果指標に「事業従事者一人当たりの付加価値額」や「市民雇用者一人当たりの市民雇用者報酬」を追加しています。	2
40	商業地の地価を挙げているのは、小倉と黒崎の賑わいが増せば地価が上がる、ということで良いか。意図が伝わりにくいと思った。	まずは、小倉や黒崎に重点的に取り組むこととしており、この達成状況に応じて、他の地域についても、基本計画の見直しの中で、追加などを検討していきます。	3
41	安全な街と認識している市民の割合も大事だが、他都市の人が見ても分かる客観的なものを考えてはどうか。	市外から視点による客観的な指標として、基本計画（P16）の成果指標に「観光消費額」や「宿泊客数」を追加しています。	2
42	ビジョンと戦略と指標はつながっているべきものだと考える。その因果関係は考えて整理した方が良い。	基本計画（P16～）の各成果指標について、3つの重点戦略との関連が分かる欄を追加しています。	2
43	指標について、製造業で考えると「人」「モノ」「金」で評価する。理工系の人材がどれだけ排出されているか、モノについては物的な機能、仕事をする場所・土地など、毎年どれだけの産業用地が準備されるか、その辺りが場所の選択に関わってくる。	基本計画で掲げる成果指標は、3つの重点戦略による取組の結果となる、大きなアウトカムの指標を掲げており、素案の13から19に指標を追加しています。その他の指標については、分野別計画や、新ビジョン策定後の毎年度の行政評価のKPIの達成状況などで把握していくこととしています。	3
44	指標の部分で、将来の夢や目標をもって・・・の中学生の値がずいぶん低い。どう見せるか、教育ビジョンとも関係するので。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであるため、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝えています。	3
45	市外の人に来てもらうためのPRはまだ改善の余地があるが、現在は「北九州市の過去のすごいところ」を押し出しているイメージ。「今の北九州がすごい」ことを示すことが大事。宇宙分野が九工大が世界一ということを知って驚いた。スタートアップについても、今をもっとPRして、前向きに夢や希望を持てるマインドを教育することが大事。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであるため、シティプロモーションなどの具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝えています。	3
46	外から見た視点を打ち出さなければもったいない。生活環境の良さをアピールしないとイケない。研究・教育環境だけでなく、北九州市の良さなど生活面も含めて見せないといけない。外から見て魅力的か、ということを変更して見直して欲しい。		
<b>7つの個性が輝くまちづくりについて</b>			
47	第7章の扱いがなんだろうと思った。7つの区のデータやポテンシャルが書かれているが、計画にはなっていない感じがする。		
48	データを活かして基本計画としてどうするんだ、ということを書いてきた方がよいのではないか。最後、バラバラで終わってしまう。このままでは逆効果ではないかと考える。	各区のそれぞれの地域資源を生かした特色あるまちづくりを進め、市全体の魅力向上と活性化につなげていく考えを、基本計画（P19）の第7章冒頭に章の趣旨としてリード文を新たに記載しています。なお、最終的な計画書には、最後に資料編として統計データなどを掲載する予定としております。	2
49	観光資源があるけれど横のつながりが全くない。台湾の観光客に皿倉山から夜景が見たい、と言われたが、門司でも同じものが見られる。羽田空港に学研都市をアピールするブースを作っていたが、今であれば観光で打ち出すべきではないか。そうしないと北九州市を訪れる人は増えない。		
50	各区の特徴について書かれているが、観光という視点が非常に少ない。今を活かすのは観光だと思う。	各区の特色をすべて記載することは難しいですが、各区の紹介の「(3) 地域資源・ポテンシャル」に、「観光」という項目で整理をしています。	2

51	新たな観光資源を作ること大事。SDGsを意識したラグジュアリーツアーとか、宇宙に関する体験ができるような施設など。		
52	潤いを求めるにはこのマップ、などテーマごとにマップで示すことができないか。そのような形で北九州のことが分かるようなことを考えたらどうか。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであるため、観光施策やシティプロモーションなどの具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝えています。	3